



## 80周年記念行事開催

### 10年ぶりの顔合わせ

記念パーティー 2020年2月16日(日)

同期同士誘い合い、皆さんの参加、  
出欠・特集への返信、お願いします。

会長 寺西 啓三 (20期)

尖閣沖での、中国漁船の衝突事件のあった、2010年2月の70周年記念行事より、早や10年、新元号の今年、令和元年9月には、アジア初開催のラグビーW杯、来年2020年には、56年振りの2回目の東京オリンピックで、日本中のスポーツ熱が盛り上がっています。

その2020年に、我が寝屋川高校ハンドボール部は創部80周年を迎えます。

今回の80周年記念行事は、10年ぶりのパーティと、記念誌の発行を行います。

卒業後、ご無沙汰になりがちな、顧問の先生、先輩、同期、後輩との、懐かしい顔合わせ、会員の皆様、同期等、誘い合い、参加をお願いします。

又、今回、パーティの出欠の確認と、下記の特集を行いますので、ご協力をお願いします。

### 1. パーティ

①2020年2月16日(日) 午後1~3時

②大阪キャッスルホテル・天満橋

大阪市中央区天満橋京町1-1 TEL 06-6942-2401

京阪電車、地下鉄谷町線、天満橋駅

③会費：社会人10,000円 学生5,000円

※出欠票を2019年8月31日(土)までに、同封の封筒で、返信下さい。(料金、受取人払い)

<送り先>

〒570-8790 守口市菊水通3-5-3

田中 裕一 (31期)

携帯番号：090-3351-6850

メールアドレス：yuskiboy@yahoo.co.jp



### 2. 記念誌

①コンセプト：次の世代へ「平成から令和へ」

2009年(62期)~2019年(71期)現役の活動の足跡

3. 今回、特集として、「心に残る、試合、プレー、一言」を、募集します。

皆さんの思い出を、字数無制限で、同封の出欠票と共に、お寄せ下さい。

## 現役の活動状況

### 第73回高校春季総合体育大会、兼、第70回インターハイ予選

2019年4月28日~6月15日

※男女1チーム インターハイ出場

男女6チーム 近畿大会出場

8代目顧問・堀川 美子 (27期生)

男子 参加66チーム

[北ブロック大会・リーグ戦]

● 寝屋川 16 - 21 摂津

● 寝屋川 12 - 25 茨木

(北ブロック・トーナメント戦、進出ならず)

3年生3名、2年生8名は、秋の新人大会終了後、例年のように、フットワークや、足腰のトレーニング、パス・キャッチや、シュートと、基本に戻っての、練習をしてきました。

寒くて、つらい冬を、乗り越えて、一回りたくましくなってきた、部員ですが、精神的な部分は、なかなか、強くはなりません。

「ただだらして、雰囲気悪くしているから、みんなに悪いから、やめようかな」、「朝から、やる気スイッチが、入らなくて、起きているけど、家を出るのに、時間がかかってしまう」、「真面目にやっているけど、うまくならず、みんなに、迷惑をかけるから、やめた方がいいかな」、「寝坊して、遅刻」など、2年生は、ぐずぐずで、3年生は、真面目に、一生懸命説得し、何とか、春休みを迎えるところまで、きました。

今年は、春合宿を予定していたので、練習試合の相手を、探したり、食事や寝具の予約をして、準備万端だったのですが、運悪く、

顧問の私が、転倒して、膝のお皿を骨折してしまい、合宿どころではなくなり、急遽、中止にさせていただきました。

しかし、練習試合は、組んでいたもので、予定通り、何とか、最後の追い込みは、できました。

新学期を迎え、8名の新入部員が、4月のクラブ体験後に、入部してきました。

久しぶりに、20名弱の部員が、コートに入ると、多く感じました。

インターハイ予選の抽選会で、練習試合をしたことがない、摂津高校と、茨木高校を、引きました。

まず北ブロック・リーグ戦は、摂津対茨木戦から始まり、どちらも、個人の能力が、高い選手が、そろっていましたが、茨木の方が、チーム力が優れていました。

その1日目、摂津は、ダブルの試合で、寝屋川と対戦です。

毎回、先にオフィシャルで、対戦校の試合を、見てしまうと、相手のうまさに圧倒され、ビビってしまうのが、今の寝屋川の弱点です。

試合開始、早々相手に、簡単に点を与えてしまい、5点ほど取られてからの、スイッチONでした。

その後は、互角に戦い、また、同点ぐらいまで、追いつけた時期も、ありました。

しかし、試合の大事なポイントで、シュートをはずしたり、ミスから、速攻に走られたりと、自分達のリズムを、作ることは、できませんでした。

翌日は、1勝している茨木戦で、もし、寝屋川が勝てば、3チームが1勝どうしの、三つ巴になる、試合でした。

負けた摂津の、期待を請けながらの、試合開始。

この試合も、昨日の試合同様、開始早々、ポンポンと、点を取られ、前半は、踏ん張ったものの、後半、引き離され、思うような、プレーをさせてもらえず、残念な結果となりました。

しかし3年生が少なく、下級生に頼らざるを得ない、状況の中、自分達がやってきた、プレーを出し尽くし、2年生も、まだハンドをやり始めて、1年ですが、ずいぶん、ハンドボールのプレーを、理解してきているような、試合ができました。

1年生も、始めて見た、寝屋川高校の、チームプレーの試合に感動し、自分たちも、頑張ろうと、強く思ってくれたようです。

新チームは1・2年生、8名ずつなので、2年生が1年生に教え、マンツーマンで、指導できる体制です。

教えることで、また向上が、見られることでしょう。





## 女子 参加41チーム

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 12 - 22 柴島
  - 寝屋川 8 - 20 桜塚
- (北ブロック・トーナメント戦、進出ならず)

3年生3名、2年生5名と、少ない人数で、長い冬を、越えねば、なりませんでした。

しかし、少ないながらも、女子のレベルは、上がってきていました。

そこで、男子と合同で、練習を、始めることにしました。

四角パスでは、男女ともに、気を使いながら、パスができるようになり、ミスが、少なくなりました。

また、男子ボールを使ったので、女子のボールの威力が、増しました。

春休みには、公式戦で勝てなかった、四條畷や北千里高校と、練習試合を行い、差をあけて、勝てるチームに、なっていました。

新学期4月になり、入部体験の際には、多くの生徒が、来てくれたのですが、結局2名しか、入部がありませんでした。

インターハイ予選の抽選会で、柴島・桜塚高校を、引きました。

北ブロック・リーグ戦は、初日に試合がなく、2日目に、ダブルの試合を、することになりました。

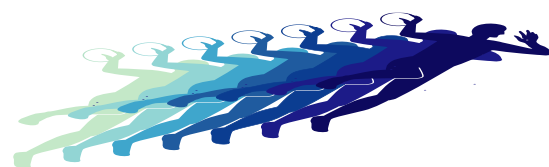
初戦で、柴島と対戦し、自分達のリズムに乗れず、消極的になって、後半に、引き離されて、しまいました。

2試合目の桜塚戦では、柴島が負けているので、「無理だろうな？」と、思いながら、試合が始まりました。

しかし、始まってみると、速攻やロングシュート、ポストシュートと、みんなの調子が合い、前半は1点差で、負けてはいましたが、練習の成果が、見れました。

しかし、後半には、相手チームに、元気なメンバーに、入れ替えられ、ダブルの試合で、疲労もある寝屋川は、速攻で、走られてしまいました。

しかし、昨年の夏には、3年生に頼りっぱなしだった2年生も、チームを引っ張れるまでに、成長していました。



3年生が引退して、新チームとなり、1・2年生で、7名しかいませんが、また基本に戻って、男子と一緒に、練習していきます。

ボール出しや、ディフェンスなど、少しでも、手伝いに来ていただくと、大変ありがたいです。

また、女子実業団の大阪ラビッツの方々が、寝屋川高校に来てくださり、男女で、一緒に練習を、してくださいました。

その後の練習では、生徒たちの目が輝き、とても意欲的に、取り組むようになりました。

今年も、夏の合宿は、男女ともに、見合わせることにしました。

来年の春休みに、行う予定です。

是非、練習に来てください。

まずは、秋季大会(夏)目指して、頑張っていきます。



## [現役の状況]

学年	男子	マネージャー	女子	マネージャー	合計
3年	3	1	3	0	7
2年	8	0	5	0	13
1年	8	0	2	0	10
合計	19	1	10	0	30

## 大阪大会方式

## (1) 春季総合体育大会、兼、インターハイ予選

## 1. 4~6月

・2019年度 参加校 男子 66チーム  
女子 41チーム

## 2. 昨年10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の、中央大会の上位4チームがシードされ、その4チームを除くチームで、南北ブロック大会を開催

・北ブロック大会(寝屋川高校参加)

2019年度 参加校 男子 32チーム  
女子 20チーム

## 3. 北ブロック大会も、昨年10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の、北ブロック大会の上位4チームがシードされます。

北ブロックシード4チームを除くチームが、3チームずつでブロック・リーグ戦を行い、勝ち抜いた1チームが、北ブロック・トーナメントに進出

4. 北ブロック・リーグ戦を勝ち抜いたチームで、ブロック・トーナメント戦を行い、4チームが中央大会に進出

5. 中央大会は、まず、南北ブロック勝ち抜いた4チーム同士で対戦し、次にその対戦を勝ち抜いた4チームが、中央大会シード4チームと対戦します。

その対戦を勝ち抜いた4チームで、トーナメント戦を行い、大阪府の1~4位の順位を決定

・7月開催の近畿大会に、大阪府より、男女6チームが出場

・8月開催のインターハイに、大阪府より、男女1チームが出場

・試合時間、男女とも、25分-10分-25分

・詳細は、インターネット「大阪高体連ハンドボール専門部」のホームページを、参照して下さい。



## 計 報 連 絡

① 3期 堀江 和子(旧姓、江田) 2018年11月25日逝去

②10期 中谷 倭子(旧姓、中東) 2018年11月13日逝去

会報では故人の方を偲ぶ、現役時代の活躍の様子・エピソード、卒業後の模様、人柄が偲ばれる思い出話等を、募っています。

次回発行の会報で、掲載させていただきます。

送り先は、今回の会報に同封の別紙「会員だより」を、事務局・寺西(20期)までお送りください。

〒573-013 枚方市星丘4-12-8 寺西 啓三

携帯 090-5887-8777

自宅電話・FAX 072-849-7237

自宅ノートパソコン kkteranishi@yahoo.co.jp





## 2019年

### 新年ハンドボール報告

今年の「新年ハンドボール」が、1月12日(土)、快晴、気温9度の中、現役・OB・OG延べ57名の参加のもと、母校寝屋川高校、グラウンド、セミナーハウスで、行われました。

1:00からの親睦試合には、若手OG・OBが、多数参加して下さり、現役と楽しく、プレーすることが出来ました。

その後の、第2部の懇親会は、セミナーハウス3階で、赤星先生(7代目、顧問)、堀川先生(8代目、顧問)、西山先生が参加して下さり、暖かい豚汁・おしるこを食べながら、恒例のビンゴゲームを行い、景品を受け取る時に、それぞれの名前・学年・出身校・今年の抱負等を、皆の前で発表し、和やかな雰囲気の中、楽しく終えることが出来ました。

現役も、顧問の赤星先生・堀川先生の、熱心な指導の下、目標に向かって頑張っています。

OB・OGの皆さん、現役達に皆さんの往年のプレーを伝授するとともに、エールを送ってやって下さい。

8月の「盆サマーハンド」に、多数の方の参加を、お待ちしております。

## 2018年度・71期生

### OB・OG会入会式

2月26日(火)卒業式の前日、寝屋川高校セミナーハウスで、今年度のOB・OG会の、入会式が行われました。

会長・副会長・顧問西山先生の出席のもと、ハンドボール部卒業生(女子14名、男子7名)に、認定証授与・記念品(シャープペンシル)を贈呈し、会則説明の後、役員、男女各3名づつを、話し合いで、選出してもらいました。

卒業後、勉学に励み、社会人になっても、ハンドボール部で得た友、心・技・体を生かし頑張ってください。

そして、新たなOB・OG会の、力となることを、期待しています。

71期役員 … 山本みなみ、植田成海、清水蒼  
島田悠河、永田康喜、山田琉聖



## 2019年 第27回総会

### 盆サマーハンドボールの案内

年号が令和となり、初めてのOB・OG会総会、及び、盆サマーハンドボールを、下記の日程で行います。

春の大会を終え、3年生が抜けた中、1・2年生の部員達は、年々厳しくなる、炎天下のグラウンドで、頑張っています。

是非、多くの仲間と連絡を取り合い、参加下さい。

親睦試合で、久しぶりに先輩方と、プレイできることを、部員達は、待っています。

体力に、もう自信がない先輩方も、ゲーム観戦・応援で、現役から、エネルギーを貰いましょう。

日時：令和元年8月24日(土)

総会	: 12:00 ~ 1:00	セミナーハウス3階会議室
親睦試合	: 1:00 ~ 3:30	ハンドボールコート
懇親会	: 4:00 ~ 5:00	セミナーハウス3階会議室
2次会	: 5:30 ~	がんこ寿司寝屋川店
参加費	1,000円	

<雨天の場合>

総会	: 1:00 ~ 2:00	セミナーハウス3階会議室
懇親会	: 2:00 ~ 3:00	セミナーハウス3階会議室
2次会	: 3:30 ~	がんこ寿司寝屋川店
参加費	1,000円	

## 会計よりの、御礼とお願い

23期 井上 武久

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただきますとともに、次掲の皆様には、平成30年度(2018.7~2019.6月)の会費を、納入していただきまして、厚く御礼申し上げます。

現在、本会は、会員が増加しているにもかかわらず、会費収入が57名と、伸び悩み、会報発送等の費用増加のため、財政状況は、非常に厳しい状態と、なっております。

今後とも、本会の存続、発展、並びに、円滑な運営を行うため、令和元年度(2019.7~2020.6月)の年会費の、払い込みにつきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みには、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みで、お願いいたします。

#### ・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829  
加入者名 寝屋川クラブ

(注)金額欄には「¥」を、書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に對しての、ご意見や、近況報告など、ご自由にご利用下さい。

#### ・銀行振込利用

振込銀行 三井住友銀行 川西支店  
口座番号 普通預金 1011226  
口座名義 寝屋川クラブ 井上武久 (イウエ ヌヒサ)

※年会費：社会人 5,000円  
学生 3,000円

## 平成30年度(2018.7~2019.6月)会費納入者

2018.6.30 現在

- 3期 大槻明子 睦月欣子 森広洋子 梅垣修三 中嶋直彦
- 6期 望月滋乃
- 7期 金馬桂子
- 9期 長澤邦子
- 12期 尾亀敬子
- 13期 土井利勝 平井謙二
- 15期 小倉裕子
- 17期 中田順子 川口宗一郎
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子
- 19期 平井晴美 吉田裕紀
- 20期 仲尾由紀子 竹野敬司 寺西啓三
- 21期 菊池和代 今堀太逸 内田一男 北澤三郎 松尾信一郎
- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 井上武久 葛木啓之





24期	小合省三
26期	地原繁信
27期	渡部安晴
29期	久松俊美 甫田裕佳理 望月光治
31期	大森孝志 田中裕一
32期	大地正広 西山直志
33期	大塚万里子 東良子 久木久美子
34期	荒木克洋
36期	正田文子
39期	坂本正成
41期	安田郁
43期	小林恭子
44期	安井由佳 谷和哉
45期	大池和幸
47期	尾張京子
58期	中東大輔
59期	戸沢千咲子 山崎景子
67期	岩崎 夏子



## &lt;会員通信&gt;

## リレー伝言板

24期 中島 亨

戦慄 富山県立K高校

私が寝屋川高校で、ハンドボールをしていたのは、もう50年も前のことです。

そんな古いを、お話しします。

記憶違いは、ごめんなさい。

あれは、2年生の春休みの、ことでした。

その日は、練習試合があるので、枚方高校へ行くと、言われていました。

当時の枚方高校は、ハンドボール強豪校で、その年（私の1学年上、部員7名！）は、インターハイで準優勝、同校を主体とした、全大阪は国体で、優勝しています。

それだけに、練習試合といっても、軽く1試合して、終わるはずはなく、永遠と続く、合同練習を覚悟して、校門をくぐりました。

しかし、グラウンドを見ると、少し想像と、違いました。

すでに、複数の高校が、試合をしていたのです。

同時に、3試合くらい、していたと思います。

その中に、見慣れない、ユニホームのチームが、ありました。

それが、富山県立K高校でした。

K高校が、枚方高校で、合宿していて、そこに、大阪の高校が、呼ばれたのでしょうか。

K高校は、すごかった。

まず、監督の先生です。

小太りな、背の低い人で、1mくらいの、竹の棒を持って、椅子に座り、試合が劣勢だったことも、あったのかも知れませんが、常に大声で、怒鳴っていました。

大きな声だけなら、驚きもしません。

なにしろ、わが望月先生（4代目顧問）は、校舎のガラスを割るんじゃないかという程の、大声です。

戦慄が、走ったのは、ここから。

この監督は、ミスをした選手、気合の入ってない選手、特に、なんの落ち度もないと、思われる選手を、試合中に呼びつけては、罵詈雑言を浴びせ、竹の棒で、気合を入れるのです。

頭にです。

十二分な、気合です。

それでも、不足と思った時は、監督は、柔道の投げ技で、選手を叩きつけます。

監督は、柔道2段との、ことでした。

気合を、入れられた選手は、何が分かったのか、良く分かりませんが、「分かりました」と、叫んで、ダッシュで、ゲームに戻ります。

試合中は、その繰り返しです。

ある試合で、ゴールキーパーが、顔面付近のシュートに、顔をそむけました。

これに、監督が、激昂しました。

すぐさま、交代させ、ランニングを、命じました。

ひたすら走る、だけでは、ありません。

「私は、男です。女では、ありません」と、大声で叫びながら、走るのです。

気合を入れすぎて、竹がボロボロになると、下級生は、新しい竹の棒を、探しに行きます。

校庭の隅には、竹ぼうきの、一つや二つは、転がっているものです。

自分も、気合を、入れられるのです。

「ありませんでした」と、言えば、いいようなものですが、そんなことが、許されるはずも、ありません。

寝屋川高校も、K高校と、試合をしました。

彼らは全員、丸刈りに、白い鉢巻をしていましたが、幾人かの鉢巻きは、血で赤く、汚れていました。

試合に、負けたものの、K高校の気合は、最後まで、衰えませんでした。

まるで、ゾンビのようによです。

K高校の監督の、所業を見て、M工業の選手が、「大阪の先生に、感染しへんやろな」と、呟きました。

当時の高校生は、「まずは、理屈から入る」とか、「叱られたら、すぐにシュンとする」と、言われ、先輩たちには、随分面倒くさい、子供たちでしたが、運動部に入るような連中は、程度の差はあったにせよ、監督、コーチ、OBの言うことには、従うという習性が、身につけていました。

体罰は、決して、許されるものでは、ありません。

事実、わが寝屋川高校ハンドボール部には、恐ろしいOBは、おられました。体罰なんて、ありませんでした。

しかし、当時は、「昔とは違うが、たまには、殴ってもらわないと、ためにならない」という、感じでした。

特に、運動部には、その傾向が、顕著でしたが、そんな風潮を、加味したところで、K高校の監督は、やりすぎでした。

この話は、「人類の、進歩と調和」がテーマの、大阪万博の年の、出来事です。

「こんな教え方、あかん、時代遅れや」と、思いました。

K高校は、インターハイの常連校で、決して不甲斐ない、チームではありません。

粗削りながら、パワーも、スピードもありました。

彼らは、その日の朝に、大阪に着いたばかりで、ろくに、寝てなかったはずですよ。

それなのに、午前中に、もう2試合していたのです。

頑張れというほうが、無理なのです。

しかし、M工業の選手の心配は、選手たちの体調ではなく、この指導方法が、自分たちの先生に、感染しないかということでした。

事実、ある高校では、選手を正座させ、何やら気合を、入れていました。

すでに、感染が始まっていたようにも、思えました。

でも、杞憂でした。

望月先生は、体罰に頼るような、指導者ではありません。

他校の先生にも、変化はなかった。



## 寝屋川クラブ会報

私たちは、幸運でした。  
数年前、大阪市内の高校で、運動部の主将が、体罰に耐えかねて、自殺しました。  
最近も、尼崎の高校で、体罰が問題と、なっています。  
体罰を受けた選手が、指導者になった時、それを「反面教師」とせず、「伝統」として、継承する。  
だから、体罰が、繰り返されるのでは、ないでしょうか。  
職場でも、同じです。  
気を付けないと、悪しき指導ほど、継承されるようです。  
現在の、K高校に、体罰はないことでしょう。  
しかし、50年前でさえ、「時代が違う」と感じた行為が、いまも、どこかで、繰り返されているとしたら、これは本当に、愚かで、恐ろしいことです。



### 39期 BECHTEL めぐみ (旧姓、杉山)

同期&高3で同じクラスだった、坂本正成くんから、バトンを受け取った、39期のクルミこと、旧姓、杉山めぐみです。

高校生の時から、アホなこと言ったりしたりするのが、大好きだったので、狂味(くるみ)と、書きます(´v´)。

中学のときは、水泳部におり、寝屋高に行ったら、当時、女子水泳界で有名だった、N先輩がおられる、水泳部に入るゾー！、同じプールで、一緒にガンガン、泳ぐゾー！って、意気こんで、入学しました。

ところが、仮入部は4月で、水泳の練習は、見られませんでした。

新しがり屋で、気まぐれな自分は、校内をフラフラしていたら、元気なハンドボール部が、目に入りました。

身体を動かすのが好きで、春の陽気で、何か新しいことを始めたくて、ウズウズしていたのでしょ。

深く考えず、「新しいご縁」で、ハンドボール部に入りました。

同期はみんな、最高に面白くて、楽しい仲間だったし、OGとなった今も、当時の思い出で、「そーそー！、覚えてるう」と、大笑いします。

みんなで流した、血と汗と涙の、忘れられない、楽しい思い出も、沢山運んで来てくれて、一生の宝やなあって、感じる今、ハンド部に入ったことは、運命だったんでしょかネ。

とはいえ、自分はハンドボールが、ずっと下手っぴでして、卒業してから、ン十年も経つのに、今なお、キャッチミスや、シュート

を外して、汗をかき、悪夢にうなされる、夜があります。(トラウマですか？、これって)

他にも、クズカゴ狙って、放ったゴミが、うまく入らなかったら、「あっ！、シュート決めようやあ」と、ぼやいています。

それでも、同世代女性に比べたら、脚力も、体力もあるし、我が子らが、小学生のとき、PTA行事で、スポーツ関係ならと、腕まくりして、出場しました。

ドッジボール大会なんか、あろうものなら、ついドリブルして、ギョングン狙っちゃいます。(「あの保護者、何モン？」と、ドン引きされていたかも)

ということで、寝屋高時代の思い出は、ほぼハンドボール一色です。

高校生なら、本来は、苦勞した授業だとか、思い出深い、文化祭とか、ほら映画だ、ショッピングだと、遊びに出かけた、楽しいことも、覚えているはずなのに…、おかしいなあ？！

夏合宿に、米原で、西寝(屋川高校)のハンド部さんと、合同練習したこと、懐かしいです。

当時の顧問が、こちらは北岡先生(5代目顧問)で、こんにちは、あちらは赤星先生(7代目顧問)だったのが、今思うと、フシギなご縁ですネ。

西寝とは、ライバル校だったので、合同練習も、練習試合も、緊張してやっていたましたが、同じハンドボールに、汗を流した仲間、本当は、もっと仲良くなりたかったなって、思います。

西寝の女子ハンド部さんらは、特徴のある方が多く、今なお、覚えているし、私たち同期の間でも、よく話題に、上がります(\*~\*)。

合同練習中、パス・キャッチしたり、並んでいる列を、譲り合ったり、わずかな接点で、ほっこりしたことが、思い出されます。

その合宿中に、自分の不注意から、カキ氷の食べ過ぎで、お腹を壊したり、寝るときの、部屋のクーラーが、一番よく当たる、ラッキーな布団の位置を、取り合いしたり、そんなことも、頭に残っています。

日中韓、3国対抗の親善試合を、観に行ったこともあります。

上手なプレーや、フォーメーションの勉強が、本来の目的なのに、外国から来た、カッコイイ男子選手らに、キャーキャー騒ぎ、試合終了後は、ミーハーにも、握手を求めに走り、ゲームのことは、よく覚えていず。(北岡先生、先輩がた、不マジメで、スママセン！)

それでも今、テレビでハンドボールを、やっているのを見かけると、血が騒ぎます。

「あー、サイド空いてるで！」とか、「そのシュート、決めなアカンやーん」と、自分のことは棚に上げ、大阪オバちゃんの、上カラ目線で、好き勝手コメントするのが、楽しいです。

跳んで、走って、フェイントかけて、キーパーと駆け引きして、シュート！、スカイプレイ！、次々と、いろんな要素があり、ハンドボールって、ワクワクする、スポーツですよネ。

最後に、次のバトンで、ここに登場していただきたい方々が、沢山おられ、迷ってしまうのですが、お2人をお願いしたいです。

1人目は、男子ハンド部、キャプテンだった東條くん。

もう、お1人の方は、37期ノンさんこと、安部知子先輩。

家が同じ方面で、一度だけ自転車で、一緒に帰ったことがあり、練習中、あまり話す機会がない、憧れの存在の先輩と、その時はイッパイ話せ、とても嬉しかったことを、覚えています。

男ハンのコートとの間に、仕切りが無かった当時、ボールが転がって、入って行ってしまうと、「ボール、ケア！」って、注意喚起し、ボールを返してもらおうのですが、ヨソ見好き女子は、ストイックに、練習しているふりして、せっかくだから、時には、男ハンとも、仲良く交流したいなあって、思っていました。(‘◇’)ゞ

がんばっている、現役の皆さん、高校生活は、あつという間ですからNE。

どうぞ、好きなことも、ツライことにも、全力投球し、(え？、暴投で、ボールケア?!)、毎日が、充実したもので、ありますように(´\_)-☆

コート外の、ヤジ馬OGではありますが、応援しています。



### 50期 良田 真紀 (旧姓、磯田)

51期の塚田恭子さん(旧姓 川上さん)から、ご指名をいただきました、50期の良田(りょうた)真紀(旧姓 磯田)です。

卒業してから、ハンドボールに触れることなく、過ごしてきました。

今は、小さい子供の育児に、奮闘しています。

現役時代は、キャプテンを、させていただいておりました。

なぜ、私だったんだろうか…と、今考えても、不思議な、頼りないキャプテンだったと、思います。

入部まで、ハンドボール経験も、チームスポーツの、経験もなく、試行錯誤でした。



## 寝屋川クラブ会報

その時は、あまり深く考えず、なんとか、なるか〜精神で、務めていました。

昔の自分に、もうちょっとしっかり！！と、注意してやりたい、ぐらです。

それでも何とか、やって来られたのは、顧問の先生方、先輩方、同期、後輩、関わってくださった皆様の、サポートに恵まれたからだ、本当に感謝しています。

暑い日も、寒い日も、毎日練習をして、今の体力では、考えられません。

特に、夏の練習は、キツくて、練習後はカラカラになり、いくら飲み物を飲んでも、足りなかった、記憶があります。

そんな夏、真っ盛りに、行われる合宿が、クラブ活動で、1番心に残っています。

朝起きてすぐ、眠たいまま練習し、夕方には、夕立にあって、ずぶ濡れになった事も、ありました。

チームメイトと、数日間生活を共にして、辛い練習に、たえました。

体力的には、厳しかったはずですが、辛かったより、楽しかった方が、大きいです。

練習の合間には、近所の定食屋さんで、食事をいただきます。

ペコペコな、お腹にしみる、優しく、美味しい、ボリューム満点の、ご飯でした。

クーラーが、よく効いた店内は、心地よくて、みんなでワイワイ、楽しい食事でした。

一度、あまりにも、盛り上がりすぎて、お店のおかみさんに、そろそろ帰って一と、言われてしまいました。

お行儀が悪くて、本当に恥ずかしい。

そのお店も、閉店されたと、前回の恭子さんの、寄稿で知り、寂しく思いました。

1日の練習が、終わったら、みんなで、お風呂屋さんに行って、夜は、他愛のないおしゃべりで、いつまででも、盛り上がりました。

こう思い返すと、ハンドボールというより、その他の思い出、ばかりですが。

10代の女の子が、10人以上、集まるのですから、とても「賑やか」な、事だったと、思います。

あたたかく、見守ってくださった、先生方、ありがとうございました。

今回、ご指名いただき、正直、私達の代では、良い成績も、残すことができなかつたし、何を書いたらいいのやら？、どうしよう…と、困ってしまいました。

現役当時は、しんどいなー、面倒だなーと、思う時もありました。でも20年以上たった、今、改めて思い出してみると、特別な出来事は、無くとも、厳しい練習を通して、強い心が培われたこと、チームワークの、大切さを学んだこと、何気ない毎日で、成長させていただいたんだと、気づく事が、できました。

素晴らしい、経験をさせていただいた、伝統ある寝屋川高校ハンドボール部、OB・OG会が、いつまでも続きますよう、願っています。

次回は、しっかりもので、いつでも、細かい気づかいをしてくれる、ウナちゃんこと、50期生 寺内夕希さん(旧姓 平松さん)に、お願いします。

よろしく、お願いします。



### 60期 稲葉 芙由子 (旧姓、橋本)

60期の奥野さんから、バトンをいただきました、60期の稲葉(旧姓、橋本)芙由子です。

このような作文を書くのは、高校生以来！？くらいになるので、読みづらいところも、多々あると思いますが、せつかくなので、書かせていただこうと、思います。

私が、ハンドボール部にマネージャーとして、入部したのは、確か高校1年の、終わり頃だったかと、思います。

きっかけは、当時仲の良かった、マネージャーの奥野さんに、誘われたことでした。

60期は、全員1年8組で、同じクラスだった為、全員が顔見知り、楽しそうにしている、みんなを見て、ええなあと思ったのを、覚えています。

みどりちゃんの、「バイトは、今後いつでも、出来るけど、クラブという青春は、今しか、できへん！！」の一言も、入部する決め手になったことも、よく覚えています。(本人は、覚えてへんやろけど。笑)

体験入部に行くと、先輩方が、優しく迎えてくれました。

ハンドボールどころか、運動に全く縁がなかった、私が、ボーイッシュで、かっこいい先輩方を見ると、なんだか場違いなんじゃないかと、思いましたが、後日、試合を見せていただいた際に、キャキー先輩のかっこよさに、一目惚れして、入部を決めました。

先輩方だけでなく、いつも、ふざけてる同期のみんなが、普段と全然違った顔で、真剣にプレーしている姿も、もっと見たいと、私に思わせてくれました。

60期は、選手が4人しかおらず、欲しいのは選手で、マネージャーは、2人も要らないだろうと、私は、ずっと思っていたのですが、そんな私に、古賀先輩が、「ふゆちゃんは、何でも気にしすぎだよ。もう少し気楽にね！」と、言葉をかけてくれたこと、今でもずっと、忘れられません。

今でも、何でも気にしすぎな性格は、変わらないですが、様々なことで、悩んだときには、必ず古賀先輩の言葉を、思い出します。

かっこよくて、優しく、面白い先輩たちは、全員、ずっと、私の憧れです。

マネージャーとしても、全然役に立たなかった私ですが、先輩たちに会えたことは、大人になった今でも、宝物です。

今更になります、私の結婚式の時に、貴重な時間を裂いて、DVDにサプライズ出演していただいたこと、すごく嬉しかったです！！、ありがとうございます！！、ちゃんと、お礼を言えていなかった、ので、この場を借りて、お礼申し上げます。(もちろん、作ってくれた、同期みんなにも、めっちゃ感謝やで！！)

さて、私は今、富山県で、主人と、8歳の娘と、5歳の息子と、4人で暮らしています。

娘は小学生になり、反抗することも多く、思い通りにいかないことばかりで、日々、子育ての難しさを、痛感しています。

これから、大きくなる娘と、息子にも、私のように、素敵な先輩や、生涯付き合える友達に、出会えたら、それは、親の私にとっても、とても嬉しいことに、思います。

同期のみんな！！、いつもありがとう。

これからも、ずっと、よろしくね。

次のバトンですが、59期の大好きな、先輩マネージャー、服部先輩か、61期の小南陽平くん、よろしくお願いします！！

最後まで、読んでいただき、どうもありがとうございました。

### 70期 山本 瑠奈



70期生の、山本瑠奈です。

何を書いたらいいのか、なかなか思いつかないのですが、ハンドボール部に入った、きっかけから、話したいと思います。

まず、中学生の時、ソフトボールをしていて、高校生になったら、絶対に運動部には、入らない！と、決めていた、つもりでした。

でも、その気持ちは、受験勉強をしていた半年間で、薄れてしまいました。(笑)



そして、高校に入学してから、赤星先生（7代目顧問）からの電話で、ハンドボール部が、あるということ知り、仮入部に行ってみると、先輩たちが優しく、ミニゲームも楽しくて、やっぱり運動が、したいと思い、ハンドボール部に入りました。

現役の頃は、何で運動部に入ってしまったのかと、後悔する時もありましたが、今は入部して、良かったなと思っています。

部活の思い出と言えば、やっぱり練習がしんどかったことかなと、思います。

また、自分の思い通りに、プレーすることが出来ず、悔しい思いをすることも、しょっちゅうでした。

でも、そんな中、部活を辞めずに、これたのは、同期や、先輩、後輩がいたからで、また、ハンドボール自体が、好きだからだと思います。

一番最初、同期は10人いたのですが、だんだんと減っていき、最後には、5人になってしまいました。

でも、人数が少ないからこそ、自分の意見を、言う機会が増え、人前で話すことが、苦手なのですが、あまり緊張しなくなりました。

先輩や後輩のように、良い成績を、残すことはできませんでしたが、最初のスタートから比べれば、最後は、かなり成長することが、出来たと、思っています。

今、私は、大学2年生なのですが、1年生の間、全然運動をせずに、いました。

しかし、何かスポーツを、もう一度やりたいなと思い、新しく、ソフトボールのサークルに、入りました。

そこで思ったのは、チームスポーツは、やっぱり良いなということでした。

ひとりでは、出来ないことも、みんなで協力すれば、出来るということや、個々の得意なこと、苦手なことを理解し、お互いに、カバーしていくことなど、ハンドボール時代に教わったことを、思い出すことができました。

また、身体を動かすことは、気持ち良いし、とにかく楽しい！、どんなスポーツをするにしても、まずは、そのスポーツを楽しむことが、大切だなと思いました。

これからは、スポーツを通して、たくさんの人と繋がりを、楽しんでいけたらなと、思います。

拙い文章ですが、お読みいただき、ありがとうございました。

では次は、同期の出口さんに、お願いしたいと思います！

① 「会員通信・リレー伝言板」では、会員の皆さんを、大体10年単位8グループに分けて、皆様に、現役の時の思い出、卒業後のハンドボールとの関わり、近況等を、自由に綴っていただき、日頃疎遠になりがちな、顧問の先生、先輩、同期、そして後輩へ、会員通信として、リレー形式でつないでもらって、会員の皆さんに紹介をし、親睦の輪を広めたいと思っています。（但し、3～15期の第1グループについては、現在、引継ぎがうまく出来ず、休止状態となっています。）

② 本文では、今回の寄稿者の方には、次回の寄稿者の指名を行ってもらっています。

次回に指名された方には、次回の会報発行時に、OB・OG会役員より、寄稿のお願い、要領等の連絡をさせていただきますので、その節には、ご協力の程、よろしくお願い致します。

② 会員の皆様、今回掲載されました内容について、感想、コメント等、あなたの熱いメッセージを、別紙「会員だより」で、FAX072-849-7237、又は、メールkkteranishi@yahoo.co.jpで、事務局20期寺西啓三まで、お寄せください。



### < お 願 い >

会員の皆様で、住所、電話番号の変更や、訃報、又、今までの送付先が実家で、送付先変更希を、望をされる方は、別紙「会員だより」で、お知らせ下さい。

事務局 20期 寺西啓三

〒573-0013 枚方市星丘4-12-8

TEL 090-5887-8777

FAX 072-849-7237

パソコンメールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

